

鈴

鈴

品川
鈴子

語

子

り

の



鈴は人生 鈴集めは旅

その美しい音に魅せられ、日本・世界各国の鈴 5000点を収集。
有数の鈴コレクターとして「開運！なんでも鑑定団」に出演した
“ベルさん”一俳人・品川鈴子が愛情を込めて贈る「鈴ものがたり」

鈴子の鈴語り もくじ

鈴語りの発端—まえがきにかえて— 2

第1部 鈴子の鈴語り

I 鈴と暮らす—日本の鈴—

第一号の鈴（清水坂）	10
阿蘇の地藏鈴	12
母と娘の遍路鈴	14
地震で目覚めた鈴	16
雲行きの切符	18
楠公さんの鈴	20
銀座「和光」の鈴	22
仙伝和尚の大黒さん	24
鈴と蛇	26

チークダンスの鈴	62
美穂女鈴	64
木目込の鈴	66
宝船 68	
木花咲耶媛の鈴	70
芭蕉坐像鈴	72
戦争中の鈴	74
懸毬の鈴	76
姫駕籠の鈴	78
布賽子 80	
サイタサイタ	82
鈴丸大将の鈴	84
清荒神 86	
折り紙アート	88
義経号の警鐘	90
大津絵の活力	92
都忘れ 94	

天神ゆかりの鈴 28

鍛冶屋の鈴 30

いとこの鈴 32

おやすみの鈴 34

筆塚 36

四神相應の土鈴 38

久米の仙人 40

大から極小まで 42

道祖神 44

デコパージュの鈴 46

いにしえの鈴 48

吉祥鯨 50

嚇かし嵐 52

トキ駈る 54

因幡の傘踊り 56

吉野雛 58

ぐろつけ猿 60

猫づくし 96

花嫁御寮の簪 98

顔見世余情 100

十二福の宝鈴 102

魔法のソナタ 104

牛若 106

美男の山伏 108

子育て犬 110

幻の打出窓 112

江戸風鈴 114

狛犬 116

II 鈴が鈴を呼ぶ—世界の鈴—

カンボジアの竹筒	120
手のひらで千年前の音	122
ティファニーの鈴	124
インディオの鈴と鐘	126

中国の古代楽器「編鐘」	128
ハンガリーの燭台と白磁の鈴	130
古いゴブラン織りを吊るベッド鈴	132
グアダラハラ	134
シエナの鈴	136
赤毛のアン	138
赤毛のアン	140
ドイツの鈴	142
カナダの鈴	144
サンタと楽士の鈴	146
夢枕	148
神の計らい	150
清代の銀鈴	152
フレスコに魅せられ	154
砂漠の駱駝	156
聖なる鈴音	158
ロシアの鈴	160
品川猛・鈴子	218
ナイトの冑	196
がらがら玩具	198
ヘレンドの魅惑	200
切斷ボンベ	202
蛙の合唱	204
ベリーダンス	206
おどけ人形	208
得難い出会い	210
幸運の手	212
湖の貴婦人	214
聖なるゆかり	216
神戸シルバークレッジ卒業の旅	218
鈴仲間交流	220
佳い夢見を	222
カルメン	224
渡来の七福神	226
見果てぬ夢	228

天使の鈴	162
鈴が鈴を呼ぶ	164
サイザルの鈴	166
ロシア鈴	168
魂を呼ぶ鈴	170
雨乞いの鈴	172
リトアニアの天使	174
クイーンエリザベス号の鈴	176
八点鐘	178
サモア島の Puke	180
空振りの心づくし	182
ブラジルの麦藁細工の鈴	184
エミレ鐘	186
ガムラン	188
イタリアの優しさ	190
メキシコの骨董鈴車	192
S型蛇の柄	194
II 鈴のはげまし—随想—	
鈴あれこれ	232
絲綢之路(一)	236
絲綢之路(二)	238
生活の鈴	240
国際交流親善	244
'88アメリカ国際ベル協会大会	246
鈴を求めて	255
The Neil Goepfingers Visit Eki Kai	
Chapter of Japan	262
夢物語	265
「鈴と舞」—日舞	267
荒木ヴァチカン大使ご夫妻を神戸に	
迎えて—花笑みの再会—今井わこ	
鈴と道連れ	276
	272

鈴のはげまし 280

Ⅱ 鈴を詠む―俳文―

鈴づくし 284

鈴と俳句(一) 287

鈴と俳句(二) 290

鐘の句 295

鈴の句アンソロジー(一)(二十八) 301

ぐろつけ由来 322

見納めの誓子 鈴子の日記抄 323

Ⅲ 鈴子の鈴―報道記―

877個にもなりました

鈴のコレクション 326

「世界の鈴展」 328

世界の鈴展・始末記 332

エピソードを秘めた鈴、

心象風景を思い起こさせる俳句、
どちらも大切な宝物。 335

鈴子さんが集めた世界の鈴約2000点

「医院待合室は「ベル博物館」

夢は「鈴の会館」づくり 338

鈴のことになるとお話が尽きなくて… 341

集めた世界の鈴2500点

鳴らせばよみがえる思い出 343

自宅に鈴3600個 まるで博物館 344

名前にちなみ鈴一色

なんと4150個 346

過去を乗り越え、明るい笑顔で 347

鈴子の鈴 ラジオ・テレビの記録 348

あとがき 350

著者略歴

品川鈴子（しながわすずこ）

- 1932年（昭和7）愛媛県新居浜市生まれ
1948年（昭和23）愛媛県立西条高女（現・西条高校）卒
1951年（昭和26）神戸女子薬専（現・神戸薬大）卒
〃 俳句と連句を橋岡石に師事
1958年（昭和33）山口誓子に俳句を師事
1966年（昭和41）七曜賞・受賞
1984年（昭和59）アメリカ国際ベル協会入会
1989年（平成1）現代芸術賞・受賞（半どんの会）
1994年（平成6）俳誌「ぐろっけ」創刊・主宰
1997年（平成9）神戸市文化活動功労賞・受賞
〃 神戸市シルバーカレッジ総合芸術工芸科（第一期）卒

アメリカ国際ベル協会々員（監査）
日本文芸家協会々員・俳人協会評議員
連句協会副会長・国際俳句協会々員

〒651-1123

神戸市北区ひよどり台1-17-1

Tel・Fax 078-741-4472

すずこ すずがた 鈴子の鈴語り

平成19年5月1日 第1刷発行

著者・発行者 しながわすずこ 品川鈴子
制作・発売元 神戸新聞総合出版センター
〒650-0044神戸市中央区東川崎町1-5-7
神戸情報文化ビル9階
TEL 078-362-7140(代) FAX 078-361-7552
<http://www.kobe-np.co.jp/syuppan/>
編集担当 浜田尚史
デザイン MASAGAKI（正垣修）
印刷所 神戸新聞総合印刷

乱丁・落丁本はお取替えいたします
©Suzuko Shinagawa 2007. Printed in Japan
ISBN978-4-343-00410-9 C0095

定価 本体2,000円+税
神戸新聞総合出版センター